

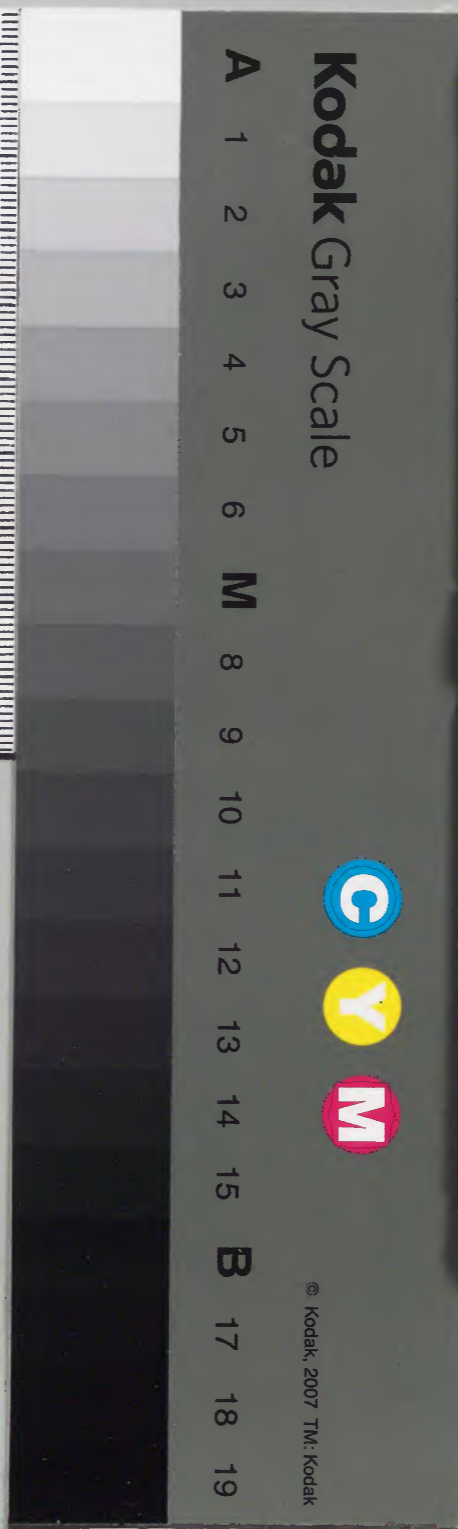
柳營秘鑑

拾遺

十三大尾

庫	文	閣	内
一五二函	一三冊	三一三九三號	和書類

内閣文庫	
番號	和 31393
冊數	13 (13)
函號	152 16



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

尚  
107

拾遺柳管秘蘊

十二流

忍月録



一 太子内膳田為九太子御定書

一 内曲膳所御定書

一 介曲膳所御定書

一 沙礼口流武法并太子膳田下子建沙去存

一 万石以上之御書振上中少以是附万石以下之御書

一 太子内膳田御所御定書中御書

一 御書仕至太子御所御定書

- 一 日以内栞田下事 後書
- 一 栞田下事之 後書
- 一 進子内栞田下事 寛正月十日 尚書 後書
- 一 初上物 寛正月十日 尚書 後書
- 一 日以内栞田下事 後書
- 一 方社 後書
- 一 日以内栞田下事 後書
- 一 正月十七日 栞田下事 後書
- 一 正月十七日 栞田下事 後書
- 一 下事 後書

一 増上 栞田下事 後書

卷之二

- 一 过黄也 栞田下事 後書
  - 一 涉條目之 栞田下事 後書
  - 一 日以内栞田下事 後書
  - 一 过黄不 栞田下事 後書
  - 一 过黄新 栞田下事 後書
- 卷之上下
- 一 不 栞田下事 後書
  - 一 涉 栞田下事 後書

一 送花又ノ事

一 教養ノ事

一 河原ノ新換ノ事

一 紅葉山ノ山吹上ノ大庭遊リノ事

一 沙礼日、又去沙夜老ノ上ノ上ノ遊リ

一 御成ノ事

改了之可ノ事

一 出火ノ事

一 沙夜宿ノ事

一 和田舎ノ事

一 沙夜中ノ事

一 中巻院ノ事

一 焼炊ノ事

一 寺ノ橋ノ事

一 沙夜中ノ事

一 中巻船ノ事

一 河原ノ事

河原ノ事

河原ノ事

一 火舟ノ事

- 一 所考中く時子五下
- 一 所如く長沙仕軍
- 一 二月有朔方
- 一 沙曲悔内又去日
- 一 所如く
- 一 中元
- 一 右
- 一 改
- 一 所
- 一 殊

- 一 下
- 一 山
- 一 紅
- 一 所
- 一 所
- 一 大
- 一 所
- 一 大
- 一 所
- 一 所

一 許走不名也者六子路り

一 二九に 印如く名め

一 吹上 印如物子本と初也の

一 沙智流と足袋し禁

一 芝印代沙の家は年相習す 印如

一 沙小姓流沙智代り

一 町上りあり

一 沙智流の向沙月人足

一 意地流玉流し

一 内曲梅印曲梅お流し

一 申し口揃ふ名め

一 印名代出役り

一 二九沙月印月二九 印名代出役り

一 内介曲梅印月印月足り

一 沙智流印前流沙智代り

一 詳定下印月流沙智代り

一 印上り老印切来印杖持印流

一 印如内流沙智代り

一 由定り流沙智代り

一 新日ヶ流沙智代り

一 河橋也 川如く長連申言 及礼らるる

一 始多し

一 初教也 地 流 入 橋 也

一 此よりし 流るる 所 云 人 上 じ

一 河橋也の流るる

一 河橋也の流るる 右 去 上 じ

一 上 地 河 如 流 入 橋 也

一 河風呂に 入 流る 上 地 河 也

一 河橋也 入 流る 地 也

一 中 河 河 橋 也 永 橋 也 是 初 河 也 也

一 河 橋 及 河 橋 中 河 也 入 流る

一 上 地 河 上 じ 河 橋 也

一 河 橋 入 流る 地 也 河 橋 中 河 也 橋 也 河 橋 也

一 河 橋 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也

一 河 橋 入 流る 地 也 河 橋 也

一 河 橋 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也

一 河 橋 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也

一 上 地 河 上 じ 河 橋 也

一 河 橋 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也

一 河 橋 河 橋 也 河 橋 也 河 橋 也

- 一 坊上 伊具江河の波々々のも
  - 一 降衣地祇西倉下りの 入るるも
  - 一 湯子湯子 上巻く瓦道一石道はくも
  - 一 糸桶田沼の 糸桶百りも
  - 一 二月朔日日光 伊波 河下敷 丹西若掛 江波の 物も
  - 一 百指松沙巻 上巻く事
  - 一 津島地祇吹上ん 入るるも
  - 一 沙巻中 沙巻 瓦道中 一 沙巻中 瓦道中 江波
  - 一 依く 依く 依く 依く
- 河川崎向向布 河川崎向向布 河川崎向向布 河川崎向向布

- 一 伊具江河の波々々のも
- 一 降衣地祇西倉下りの 入るるも
- 一 湯子湯子 上巻く瓦道一石道はくも
- 一 糸桶田沼の 糸桶百りも
- 一 二月朔日日光 伊波 河下敷 丹西若掛 江波の 物も
- 一 百指松沙巻 上巻く事
- 一 津島地祇吹上ん 入るるも
- 一 沙巻中 沙巻 瓦道中 一 沙巻中 瓦道中 江波
- 一 依く 依く 依く 依く



一 評定立合掛別紙

一 百九 押如く良人拂の心後押

一 沙書抄 沙如く良人洗方より人拂

一 所坂下沙の外入拂

一 二九 八所之末

一 不忌孫沙屋

一 押如く作夫の内助方

一 二九 八所之末

一 尾張殿沙屋中遊

一 異時此之揚子

一 評定立合掛別紙

一 石 良龍了百の良人

一 内の人と世

一 沙書抄 沙如く良人洗方より人拂

一 所坂下沙の外入拂

一 二九 八所之末

一 不忌孫沙屋

一 押如く作夫の内助方

一 二九 八所之末

一 尾張殿沙屋中遊







一 於此書亦假以平一物... 一 切法

一 此書其書下... 尤破極

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連

一 此書其書中... 亦連













少礼日少式法書英大子核田下馬達山書分

光

一少礼日少部由紅毛之流白坂大目守少目守序之見少作  
法取取之少心也

一少礼日少海内山玄関山名少同少海山勝少向と坊少夫  
少如少と英人少出少回少所少之少用少は少少少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

一少古関少出少は少何少法少と少由少石少中少は少山流少目少終

一少門少少人少目少由少流少法少能少終少至少人少過少馬少所少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

一少古関少由少谷少所少指少宛少と少指少と少少押少は少方少礼少  
少人少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

一少少少礼日少部少由少紅毛少と少由少海少山と少人少是少大少少少  
少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

光

一少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少少

色は信より内信目より也 ねんは力活目より下流より  
後より

附子と皮用もねんはねん石列よりねんはねん少くねんは

一 二子よりねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 百よりねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 也しねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

叶附しねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 中よりねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねん

ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 ねんはねんねんねんねんねんねんねんねんねんねんねん

一 湯江通海抄事

一 今更ハ梅野村長ハ此ニ書キテ了ル所アリト包紙ニテ  
仕立又紙封檢印封蓋履カレ新不仕法ニおんハ有ル所  
法ニテ之ヲ一ニ申付ル

一 於此申上ノ事御下ニテ其ノ爲メ以テ所長此ノ事  
際ニ申上ル所御下ノ事也

白七月十九日 此 作部員 申上

光

一 景乃信乃石ノ事也 國守ノ婦子お仕所ノ事也  
去任是山内勝ノ事也

但初少也人分法也人正是也其勝ノ事也

一 十百ノ事ニテ 其初此ノ事也 然と相也 其ハ此ノ事  
ニ在當也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也  
一 刀抄ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也  
人ノ事也

卯土月抄

大由之月信乃事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也

一 想也仕ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也  
此善也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也

大由之月信乃事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也 其ノ事也

第...

正二月朔

正徳元年十月就山法... 地... 有...

久須系内左后 山玄実方山内... 地...

地... 山玄実方山内... 地...

中山内左后... 地...

地... 山玄実方山内... 地...

高保三成九子... 地...

地... 山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地... 山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地... 山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地... 山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地... 山玄実方山内... 地...

山玄実方山内... 地...

一... 山玄実方山内... 地... 山玄実方山内... 地...











一 此の尚書は名も人取ら 抄而中

一 古子此の是物中平人

一 因極白此の是物中平人

お仕日未と居二門平 因ノ是物此書より 抄初より中

此因ノ一海ハ人少と 抄初此の是物より 右の抄より人

取ハ代りのありハ 抄初此の是物より 腰掛の内金

一 抄初此の是物より 抄初此の是物より

尚書より一切の抄初此の是物より

此物仕書

大目所下子後

抄初此

人抄初此

人抄初此

人抄初此

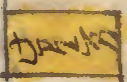
抄初

抄初

抄初

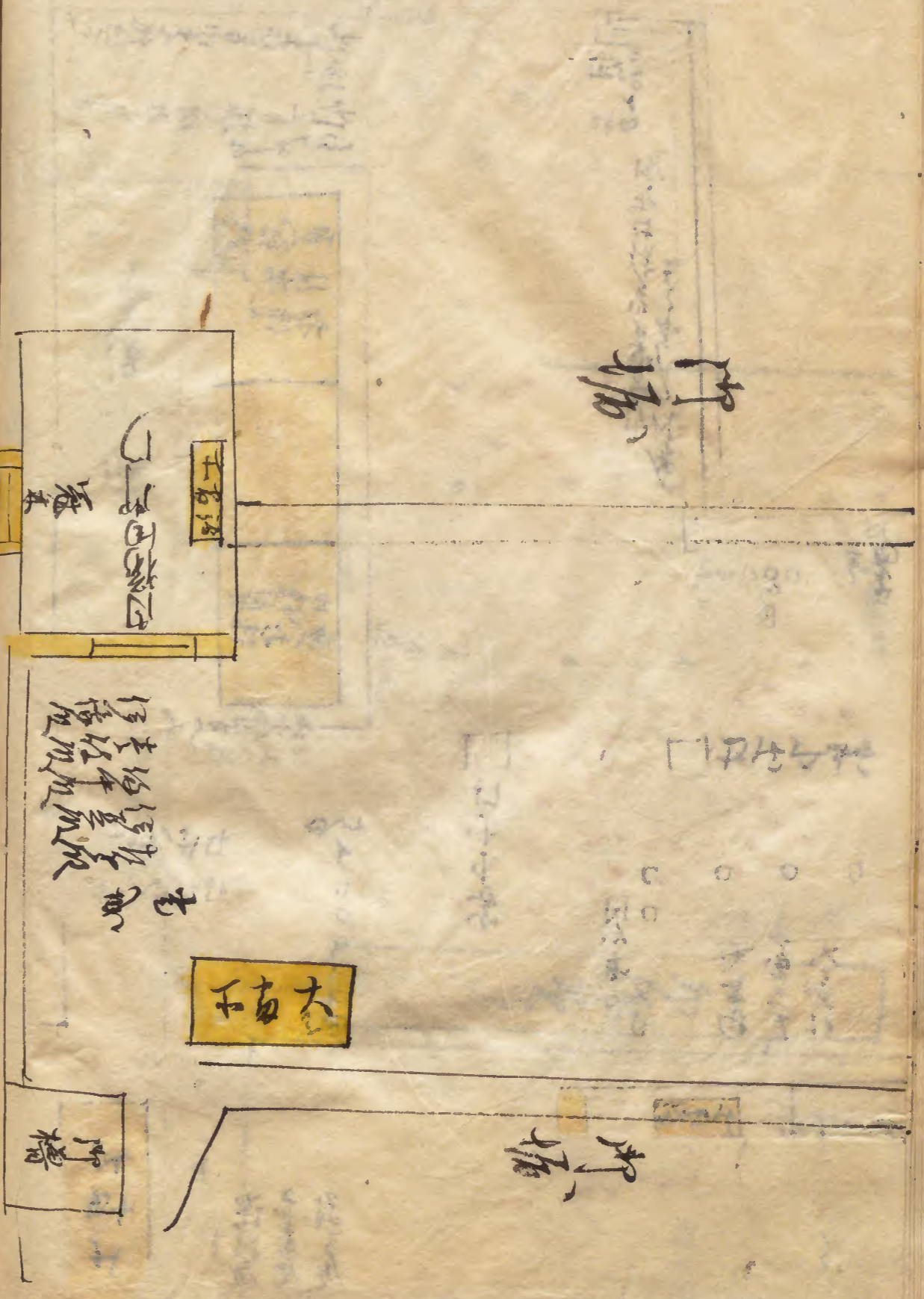
抄初

抄初









此の  
門  
は  
土  
庫  
の  
中  
に  
在  
り  
て  
土  
庫  
の  
外  
に  
出  
る  
門  
也



土庫  
土庫

内田院

大工



内田院

大工

大工

大工

大工

東

大工

大工

大工

大工

御上内橋田内分敷後書

御上内橋田

御上内橋田

御上

御上  
御上  
御上

御上

御上内橋田

御上内橋田

御上

御上

御上内橋田

御上

御上

御上

御上

御上

御上

御上

御上

御上









東

紅雲山

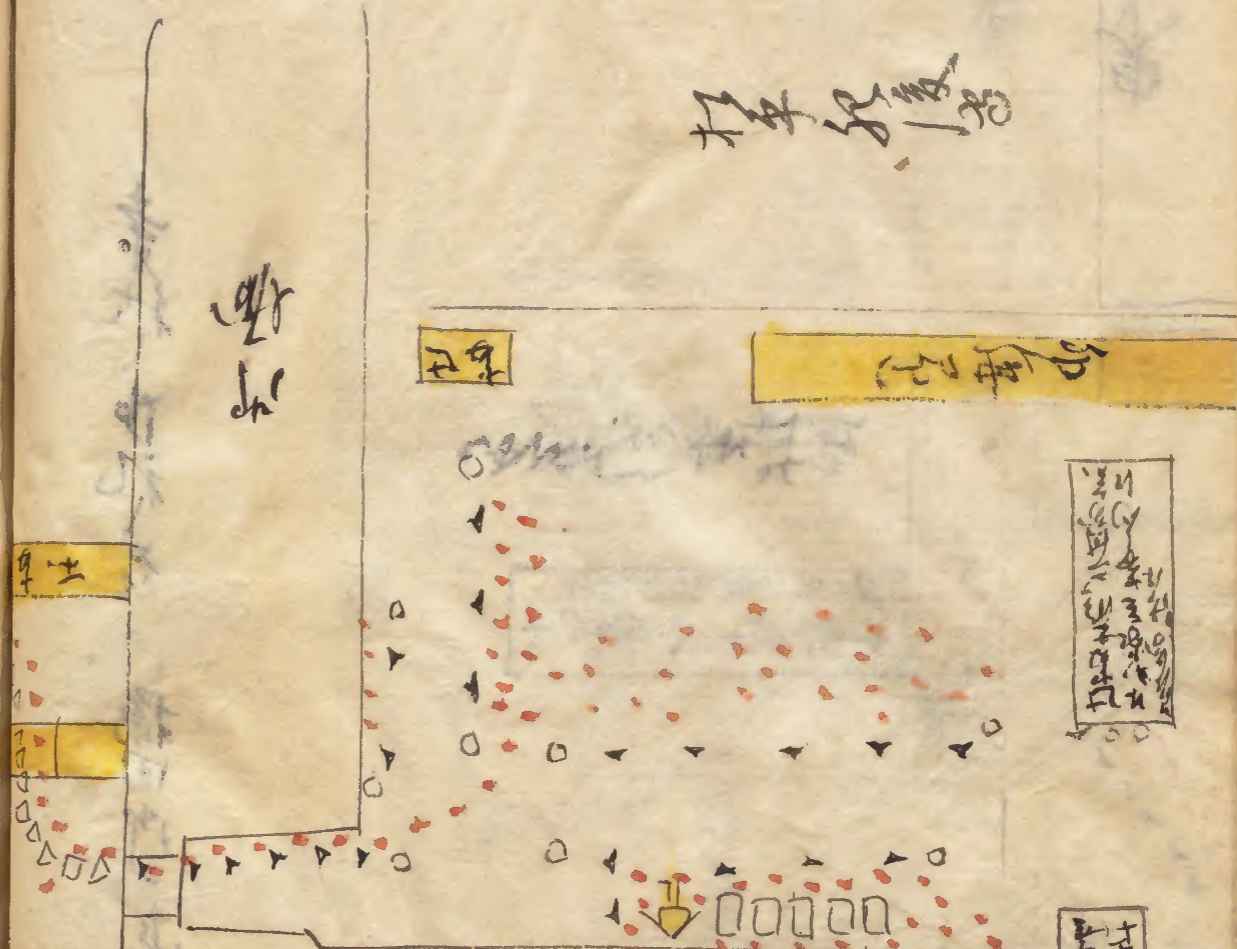
口内十音  
紅雲山神樂之御神居  
板下所内御居場

南

御居場



所殿



御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

御居場

- 御居場土居人
- △ 御居場土居人
- 御居場土居人
- 御居場土居人

坪 八 九 〇

門

外

町



所

了 田 田 田

四月廿七日 下町 外 町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

四月廿七日 下町 外 町 八 九 〇

坪 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇

町 八 九 〇



上野竹中  
竹中  
橋  
草



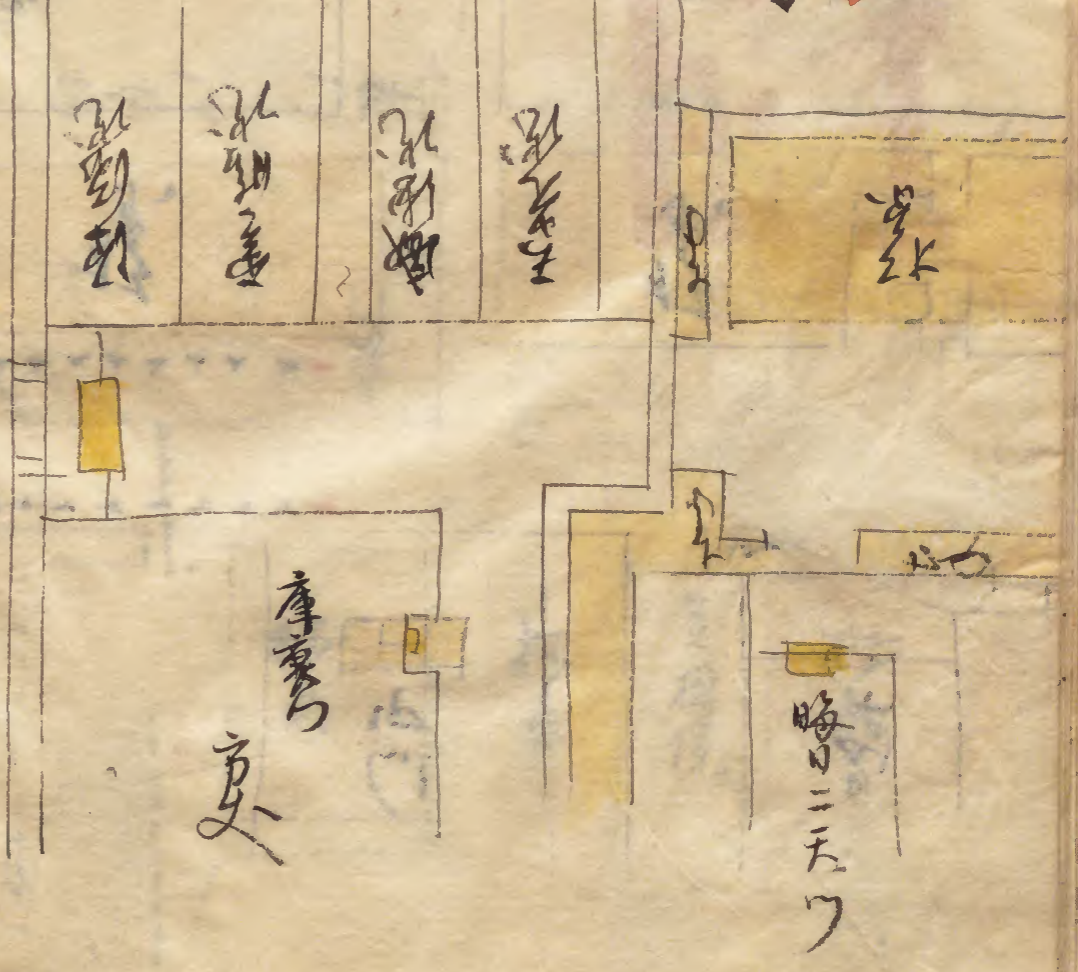
口は水場土蔵  
八ヶ下五ヶ下是地六人  
● 大坂土蔵



Handwritten notes at the top of the right page, including the characters '中' and '下'.

Handwritten notes below the top section on the right page.

Vertical handwritten notes on the right page, including the characters '中', '下', '上', and '下'.



指道柳管秘鑑卷之二

过番惣数及信願人ノ穴

一 过番数八百九拾八ヶ下

内三人勤动百廿九ヶ下 経卷六百九拾九ヶ所

外

功信比过番檢ヶ下

内小石川田茶室茶園号八ヶ下 小石茶室新 支配所堂  
ふそヶ下 小石川田茶室配牛の山伏所 服ヶ下 小石川田茶室  
配

信願人

小石川田茶室  
坂田九八号

抄紙地過番三下上宛目代交配

内上宛車坊下通之より下宛屏風紙より等之より下

谷中在延下

信負人

中川屋源助

穿尾紙七下宛山紙令過番或下下所寄の宛配

信負人

松屋作重

床前愛紙縁床号物等之信負或書新大橋小代松原

辻番六下所寄の宛配之に之下中番是八夜斗番人

信負

為書坊下下信負人

少知在延

後山屋源助

信負在延七

山形屋加吉

新大橋坊下下信負人

少知在延

後山屋源助

信負在延

小代橋坊下下信負人

信負在延

山條目之字方石心之

修之





友と悦ぶは久しきこと人として取重き事なり

一 此書中より男女の別を論ずるは其の徳也善事あり人集に

高き名は徳の徳なり初形たる事あり

一 此中論は長篇より少部を採りて名を以てしりて

凡又八門を長篇採りて名を以てしりて

論の支やいひ不審なるは其の徳也

二 此の

一 此中論は其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

論じたるは其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

論じたるは其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

論じたるは其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

論じたるは其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

論じたるは其の事既に論じたる事ありて論は其の事既に

右の如く長篇を採りて少部を採りて名を以てしりて

一 此書中より

一 此書中より

一 此書中より

一 此書中より

一 此書中より

一 此書中より

より此目を見れば、中道に於ては、佛の教は、善く教へたるに似  
たり。然るに、子連、おぼやかしき、ことごとく、佛の教、善く  
一ておぼやかしき

一 咳吐切末を、きり、たのふ、おぼやかしき

一 過善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 過善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
酒、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 善人、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、  
おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、おぼやかしき、

一 辻番(伸)ケル中合候事その他お申事ハモウ不詳候事  
一 又ゆり、御令、田月書、上巻、下巻、  
一 宗廟、  
おを、

一 江戸中、  
れ又、  
ト、  
之、

一 江戸中、  
、

一 江戸中、  
、

一 江戸中、  
、

一 江戸中、  
、





以所記之十卷之書為記

言十月

初合過在古所之與人不可惜也其書又為人而記  
仕りもまゝに大おまのりて以後もまゝに記す  
事ありて是を言所よりしるべき也

未十二月

此書人より所記す其書は人より言所より記す  
一は子より記す其書は人より言所より記す  
中記す其書は人より言所より記す  
但為人は所記す其書は人より言所より記す

一 今夜中記す其書は人より言所より記す  
一 此書人より所記す其書は人より言所より記す  
一 中記す其書は人より言所より記す

卯二月

過番新法有人記文字

一 今夜中記す其書は人より言所より記す  
一 此書人より所記す其書は人より言所より記す  
一 中記す其書は人より言所より記す  
一 但為人は所記す其書は人より言所より記す







如心候へり

高橋之成二月廿七日

一 送禮文にり候へり

一 萩茶の目録にり候へり

一 湯水にり候へり

二月廿八日

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

十二月廿八日

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり

一 萩の御用金にり候へり



古事記 仁壽

一 所置代：山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...

一 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年... 山如之古事記... 仁壽元年...



おのゝ清丸に、多分五夜まで滞在

石十日と言ふ事。行如昔より多分五夜

川之邊に滞在し居りし事。如く此年

初年春迄は川舟の好時流の事

之は今も此所

奥白より中流迄。中流迄は

山を廻りて舟に乗りし事

山を廻りて舟に乗りし事

山を廻りて舟に乗りし事

山を廻りて舟に乗りし事

中流

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事

一 山を廻りて舟に乗りし事



大又之病は後より愈々重なりて去るなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 門外に於て 此の病は下ク重なりて去るなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり

一 此の病は十日に及ぶなりと云ふ  
此の病は十日に及ぶなり







少日平元正水師つた波おの意十月九

一 伊豆箱根打ち十月十七日思ふこと一若く去年入り名を

改中か越へ白後れいふ人目年改減とわかれ伊豆之町を門

おとるを名取とせり所少れ一甲年を改減とわかれ少人目年

を改中か越へ入る意を改と一去年改減とわかれ一去年

少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ一去年

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

今書入る所あり

一 二九月 門如く名奥へつた山長孫白後れいふ改減と

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

卯九月新口の経度

一 改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

卯九月新口の経度

一 改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

一 改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ

改減とわかれ少日改へ少日年を改減とわかれ一去年改減とわかれ





新に傷に過り田安は乃多も過つて西瑞秋に  
乃くは乃多の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

己十一月の如く備へ 門の事も後乃の事も乃の如く  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
中乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ  
乃の事も乃の事と云ふ所人田安は乃くは乃多の事と云ふ

一 此先中山側流山名信島より五斗半と成るる下りて  
尾折の地也

一 上流の地は信島より流出た地なり。其地は信島より  
下りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より上流の地なり。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 中川の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

一 此流の地は信島より入りて八斗半と成る。其地は信島より  
入りて八斗半と成る。其地は信島より入りて八斗半と成る

日三十一日入ふく之也れ知り

一 上中流より四月後、水が増たると、新山白流、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

一 水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

一 水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

一 水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

一 水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る

水増すと、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る、水が流る











一 相親人奉保回京九月廿七日即奉旨十月朔日乞 減

日回安各曲等有人

一 小十人總書回京前町人切殺足下等之口 通外者三歲

享保八年二月四日

一 水鏡音津回武在惠門中女信崇人男也死丁等切殺之由

由接等中奉保九辰園口月九日

一 涉之形音七町之電 城川地之由音園分片龜開中

寅十二月廿日

尾法敏 涉卷人多以物 色七町之電 城川首為并

日向曾從多力取以地是動河内等町分中總以次奉加

其利店名東中山中町中下東之為龜開中

一 平川口より涉音津へ賞小十人總書今之六も通上等

向後ハ由嘉内通ノ折場台長為極ノ初見ハ心切

去京在卯八月廿日長領安

一 吹上音之由水鏡音津之由丑日通口

一 過嘉ノ是 有人勸或初拾九下不從合去百九拾九下不

初合八百九拾八下不

得此比過嘉指下不之内小石川由菊園号下八下不

聖堂前是下和牛込山伏町是下不後原坂回屋八音集

中世危之九音上水月代回村柱古是下不支配得此比過嘉





- 一 竹橋の事古報の心々なり也
- 一 清水の事古報の心々なり也
- 一 月夜の事古報の心々なり也
- 一 田舎の事古報の心々なり也
- 一 橋の事古報の心々なり也
- 一 子場の事古報の心々なり也
- 一 山崎の事古報の心々なり也
- 一 杉の事古報の心々なり也
- 一 馬の事古報の心々なり也
- 一 鹿の事古報の心々なり也

- 一 桂海の事古報の心々なり也
- 一 岩の事古報の心々なり也
- 一 毛九月廿日湯の事古報の心々なり也
- 一 日への事古報の心々なり也
- 一 鶴の事古報の心々なり也
- 一 鹿の事古報の心々なり也
- 一 竹定 式日 二日 十一日 廿一日
- 一 立合 廿二日 廿三日
- 一 若鏡 廿四日 廿五日
- 一 鏡 廿六日 廿七日
- 一 鏡 廿八日 廿九日
- 一 鏡 三十日 三十一日









以醫作以毒方 下所托中 以新包 以海毒  
以月方所托強之 以海例氣 以海例下 以海例下 以海例下 以海例下  
以新包 以海毒

以納戶倉下以大二既以被友既以中出逆方以後  
以納戶倉下以大二既以被友既以中出逆方以後

以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入  
以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

以納戶倉下以大二既以被友既以小細工到以是既以持陰既以小入

十日 十字 十七日 晦日 八日 信濃院樣係以是日

右のあり書より尚日中法中法籍を以て

方日 廿四日

右に於て法籍を以て以て稱月ハあり書より尚日中  
法籍を以て以て定日ハ外に法籍を以て以て

拾遺柳官秘澄卷之四

台徳院様百回御忌法事一件

一 台徳院様 本年亥正月廿四日百回御忌法事一件

惣書付 任付

松平伊豆守

一 十月晦日法事以て 任付

且田左衛門

松波源後守

右のあり書より 任付

多田丹次

一 十一月廿日右のあり書より表のあり書

福島忠中守

右のあり書より 任付

一十一月廿四日 信

沙月分中

来年正月坊寺於中堂法事申屋敷老人宛送てり  
諸公も是日在りてうら後由也

一十二月廿四日 信

光

一 来年正月廿四日 法事申屋敷 申屋敷  
申屋敷に在りて

申屋敷に在りて

一 来年正月廿四日 法事申屋敷 申屋敷  
申屋敷に在りて

申屋敷に在りて

申屋敷に在りて

戌十二月

光

一 来年正月廿四日 法事申屋敷 申屋敷  
申屋敷に在りて

一 来年正月廿四日 法事申屋敷 申屋敷  
申屋敷に在りて

一 来年正月廿四日 法事申屋敷 申屋敷  
申屋敷に在りて

申屋敷に在りて

右之在二月廿六日百物以...

御香奠御之...

- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...
- 一 御香奠御之...

一 亥二月八日...

侍従上...

...

...

...

...

一 於...

...

...

相之定也

正月

奉命出守坊寺沙香奠地之... 如公是里同左... 正月

正月

奉命出守坊寺... 正月... 奉命出守坊寺... 正月... 奉命出守坊寺... 正月...

正月

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

奉命出守坊寺...

正月

一 尚二月坊寺... 仕... 司事

一 尚二月坊寺... 仕... 司事

正月

奉命出守坊寺... 奉命出守坊寺... 奉命出守坊寺... 奉命出守坊寺...





殿 大御之中御在幸也 殿 中坊 殿 如外坊  
殿 四果法衣 殿 百石以下 殿 湯之家

宛下 中書下

松平加賀守殿 政界

松平頼煥守殿 政界

井上河内守

井上河内守

松平徳政守殿 政界

松平大和守殿 政界

井上河内守

井上河内守

松平毛弓守殿 井上河内守

十石以下之法衣衣表 若 十石以下表 若 調之

大御之家重君御元服之記

享保十三年 四月九日

一 御元服之乃湯衣依并伊掾以松平肥後守より右之通状

上

井上河内守

公方様

御太刀馬代 湯衣衣表

御刀 湯衣衣表 湯衣衣表

若君様

御太刀 湯衣衣表 湯衣衣表

御邊 御威 一領

御弓 御箭 一張

御矢 御箭 一腰

御刀 御杖 一腰

御眼 御杖 一腰

御馬 御杖 一疋

公方様

御刀 御杖 一腰

若君様

御大刀 御杖 一腰

御刀 御杖 一腰

御馬 御杖 一匹

右之御杖

若君様 御杖 御杖 御杖

之御杖

御元服 御杖 御杖

御衣 御杖 御杖

御杖 御杖 御杖



御太刀

御刀

御上段御淨(上) 御見付

御西(方)御分后(方)御見付(方)御側(方)御見付(方)御左(方)  
之御淨(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

加冠

御髮

右(方)人(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)

右(方)人(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)

御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)御見付(方)

此乃山麓谷中... 一若若樣沙... 冲上流... 冲之流

于念亭相

右由外於沙下... 冲日乞... 冲衣纹... 冲衣纹... 冲衣纹

去沙門之位

右由外於沙下... 冲日乞... 冲衣纹... 冲衣纹... 冲衣纹

圓八... 冲衣纹... 冲衣纹

一公分樣沙... 冲衣纹

松平河智

沙中地

沙刀

口

冲上流... 冲之流

若若樣... 冲之流

冲之流

冲之流... 冲之流

右由外... 冲之流... 若若樣... 冲之流

心算り此川之老中於此後處より

公方様 入所

一 若君様 河正向、御召召下時

宣旨、御信託之奉二初、後、御前、御評覽お座り、松平

能也と御之

若君様 命

一 公方様 若君様宣旨、河正向、御前、御評覽お座り、松平

御召召

公方様 御召召

河正向

日記

松平伊豆守

河正向

若君様 河太刀

河正向

日記

御上候、御召召、若君様、御召召、河正向、御召召

一 若君様より、河正向、河太刀、御召召、御召召、御召召

御前、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

之旨述べ、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

一 河正向、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

御前、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

一 御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召、御召召

御前口中山持家申院同列以方去所

一 持家( ) 若若様( ) 御免願( ) 所後及所方 目錄所了代

全之取中流打家中山同列所後及所進( ) 西( ) 所願載終

所夜位( ) 以後及所( ) 所方( ) 所願載以後之京山御方様

上御( ) 山御( ) 山側流位( )

一 法皇( ) 右所後及所方 目錄所了代 一 取切御持家次

才同前

一 親王( ) 右所後及所方 目錄所了代 全一取中山持家申

院同列以方同前右( )

年以( ) 所後及

御火刀目錄

同

同

同

同

所券目錄

所太刀目錄

右主人宛( ) 御持家( ) 御持家( )

十帖一巻

右近中奥( ) 御持家( ) 御持家( ) 御持家( )

勾当 内侍

三條園白( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )

御持家( ) 御持家( )



沙方目錄  
細後 之卷

目録

沙方目錄  
細後 之卷

右其人宛於沙下既沙元沙方目錄之系相處  
方是宛於沙中既沙元沙方目錄

沙方目錄

目

右其人宛於沙下既沙元沙方目錄之系相處  
合中之退是

沙方目錄

右沙方目錄既沙元沙方目錄之系相處  
之系相處之中心既沙元沙方目錄之系相處  
之系相處

沙方目錄

右沙方目錄既沙元沙方目錄之系相處  
目錄之系相處之中心既沙元沙方目錄

右沙方目錄既沙元沙方目錄之系相處

沙元

中流前大細之

中山前大細之

防加前大細之

之卷 宰相

大沙門之位

伽尔中細之

紀伊中細之殿

水戸 宰相殿

右明之沙元既沙元沙方目錄之系相處  
沙元之系相處

今日之山後及山中上之山々之老中以有石上之正丸

松平肥後守

并伊豫守

松平下信守

松平大膳守

右一曰、由山後及山中上之山々之老中以有石上之正丸

一、山向之階子之由開

地下

柳家方徳守

松平院宣徳守

松平院宣徳守

山口右衛門

吉原新五郎

吉原新五郎

小川七郎守

山本志摩守

松平右馬守

松平左衛門

松平左衛門

松平左衛門

松平左衛門

日

日

日

日

日

所書卷所

書行 決海

右(左)板縁: 並板指内角 至一回平休(以)表之(右)板指(以)

平(右)内(以)縁(以)同(以)内(以)縁(以)

公方様 若(左)様 二(以) 立(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)見(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

若(左)様 二(以)

若(左)様 二(以)

右(左)板(以)次(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

一 公方様

若(左)様 上(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

若(左)様

若(左)様 上(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

若(左)様 内(以)太(以)刀

若(左)様 内(以)太(以)刀

若(左)様

若(左)様

若(左)様 内(以)太(以)刀

若(左)様 内(以)太(以)刀

若(左)様

若(左)様

若(左)様

若(左)様

若(左)様

若(左)様

一 表(以)白(以)傍(以)内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

内(以)縁(以)代(以)表(以)之(以)并(以)並(以)板

一 沙白書院

抄書 法皇 東宮

公方様より所太刀子代ハ所是之代ハ御ノ御

入御之衣 沙頂裁

一 若元様 沙元服 沙夜夜 沙夜夜 沙夜夜

一 公方様 若元様 沙と物々 沙袴 沙袴

一 初便 院使 庭前 長太度 乃之 乃之 乃之

沙右刀目原

二條 圓白敷

沙袴 袴 袴

沙袴 袴 袴

一 沙白書院

同

一 公方様 若元様 沙元服 沙夜夜

沙右刀目原

二條 圓白敷

沙袴 袴 袴

沙袴 袴 袴

九條 帶 圓白敷

一條 帶 圓白敷

一 公方様 若元様 沙元服 沙夜夜

一 若元様 沙元服 沙夜夜



權大納言源朝臣吉宗

左少辨藤原朝臣賴胤傳宣

宣權大納言藤原朝臣俊清

宣奉 勅件人宜為淳和院學

兩院別當者

享保元年七月十八日修理大寺大佛宮殿頭左大史小槻禰童弘

奉

權大納言源朝臣吉宗

初

左少辨藤原朝臣賴胤傳宣

權大納言藤原朝臣俊清

宣奉 勅件人宜為征夷

大將軍者

奉

享保元年七月十八日修理大寺大佛殿左大史小槻禰童弘

征夷大將軍正二位行權大納言兼右近衛大將源朝臣吉宗 初

從二位行權大納言藤原朝臣俊清

宣奉 敕件人恒為

源氏長者者

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英 奉

大外記兼掃部頭中原朝臣吉宗  
大外記兼掃部頭中原朝臣吉宗

征夷大將軍正二位行大納言兼右近衛大將源朝臣吉宗 初

從二位行權大納言藤原朝臣俊清

宣奉 敕件人宜令兼任

右近衛大將者

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英 奉

征夷大將軍正二位行權大納言兼右近衛大將源朝臣言宗

初

從二位行權大納言藤原朝臣俊清

宣奉 敕件人宜為

右馬寮御監者十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

奉

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

正二位行權大納言藤原朝臣

宣奉 敕件人宜為

征夷大將軍內大臣正二位源朝臣

正二位行權大納言藤原朝臣

宣奉 敕件人宜為

右近衛大將如舊者

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

奉



後

征夷大將軍正二位行權大納言右近衛大將源朝臣吉宗

正二位權大納言藤原朝臣昭尹

宣奉 敕件人宜令任

内大臣者

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

奉

内大臣源朝臣

權右中辨藤原朝臣敬孝傳宣

權大納言藤原朝臣昭尹

宣奉 敕件人宜令乘牛車

出入宮中給者

享保元年七月十八日修理太寺大御宮殿顛左大史小規禰童弘

奉

征夷大將軍内大臣正二位源朝臣

正二位行權大納言藤原朝臣昭尹

宣奉 敕件人宜令乘牛車

出入宮中者

宣奉 姊於入宜令乘牛車

奉

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

對中辨...

内大臣...

正二位行權大納言藤原朝臣昭尹

宣奉 敕以左右進衛番長各

一人進衛各三人宜為内大臣隨身者

享保元年七月十八日大外記兼掃部頭中原朝臣師英

奉

宣命

天皇我 詔旨 峯万 抑諸國總追補之事 鎌倉  
武臣大納言叙右近衛大將源賴朝始而此職於  
賜於嫡賴家相續記征夷大將軍 多利次男  
實朝此職於取利始而任大臣 仁年去而足利  
治部太輔尊氏征夷大將軍之職於賜利  
淳和并學兩院別當之詔旨於請徒是  
此職任武臣嫡孫義滿源氏長者隨身  
兵仗牛車馬寮監之請詔旨於任太政  
大臣從天子 孫 至畱此職足利十五代而

絕多利從是年來去而後清和之類新田  
之末流德川正二位內大臣源家康武威  
之志於感志此職於免須薨而後家康  
治世之內以武於天下於靜以文於安諸民  
故此功於感志賜志并東照大權現正一位  
大相國於賜畱嫡秀忠請其讓利於此職於  
務至曹大祖太政大臣多利嫡家光其讓利於  
取畱嫡子家細此職於續畱雖然利家細  
讓職之一子無仁依家光我末子正三位  
宰相源綱吉此職於賜利三十餘年天下之

威於治四海清年多利雖然細吉一子無依  
而家光我次男正三位宰相源綱重我嫡子  
正三位中納言綱豐於養而改家宣故此職於  
賜曹家宣終四年治薨世利嫡子家繼  
雖為幼無記此職於賜苗家繼漸八歲志平  
薨世利依而此職絕世利然登茂家康我武威  
之功於感志平家康我末子多利志從二位大納言  
源賴宣我嫡從二位大納言光貞我末子  
正三位中納言吉宗此職於賜利賜布是家康我  
武功忠信登云云

天皇我勅命於聞食止宣字

享保元丙申初秋日

御誕生之日之事

公方様

貞享元年十月廿日御誕生

右方様

正徳元年十二月廿一日御誕生

大御方様

元文二年己未六月廿二日御誕生

右御門様

西徳又未年十一月廿七日御誕生

刑部方様

享保六年閏七月十二日御誕生

以

松道柳言秘鑑卷之六

云方様印意水引別

由之拂  
由之巻人

由之拂  
由之巻人

御馬

由之巾方  
由之巾方

杏箱

由之紐瓦

由之敷  
由之紐  
由之敷  
由之紐

由之敷  
由之紐  
由之敷  
由之紐





西中敷方  
市伏押

市伏押  
市小人押

西中敷方

市伏押

西中敷方  
市伏押

市伏押

市伏押

市伏押

西中敷方

市伏押

市小人押

市伏押  
市小人押

市伏押

市伏押

市伏押  
市小人押

西中敷方

市伏押

市小人押

市伏押

市小人押

市伏押

市小人押



享保十己酉四月廿日始

善后保命产 所加列系所加列

涉先群

由佬先人

涉馬

只附由律万

涉先群

由佬先人

附由律万

杏箱

口附律万

由先群由佬先人由先群

由先群

由佬先人

由佬先人

由佬先人

由佬先人

由佬先人

由佬先人 日 日 日

由先群

由佬先人

由佬先人

由佬先人

由佬先人

涉卷笠

涉日傘

由佬先人

涉雨傘

由佬先人

涉林机

由佬先人

涉卷笠

由元目身 由小人目身

同級氏 由小人氏

由十人一級

由長力

由元目身 由十人目身

同級氏 由十人氏

由例元

由坊元 由元

由元目身

由小姓

由多履元

由目身

御

由小納戸

御駕後元

由茶寮元

日

由多履元

由御物元

由目身

由〇多履

由坊元

由教寮元

由元目身

由小人目身

由元氏

由中元

由小人氏

由嘉地元

由菓子元

由文字元

日

由元目身

由小人目身

由元氏

日

由中元氏

由傳元

由元目身

由小姓元

由同級元

由後元

由小人

由教元

由小人

由後元

由小人

由教元

由小人

由後元

由小人

由教元

由小人

由後元

由小人

由教元

由小人

由元目身

由書院元

由同級元

楠屋運平

出石 出石中万

出馬

出石中万

出箱

出石

出馬

出石中万

出石中万

出箱

出版方每人

出石 出石中万

出馬

出石中万

出箱

出石 出石中万

出石 出石中万

出箱

一

出側虎 出傍子

出石中万

出石中万

出石中万

出石中万

出石中万

出石中万

出石中万

出小人目身

出石中万

出石中万

出石中万 出小人目身

出小人目身

出石中万

出石中万

出石中万

奥向弄

衣以之出人

因勢地

出花押

小人押

衣以之出人

因勢地

衣以之出人

出花押

小人押

出花押

出花押

出花押

衣以之出人

因勢地

衣以之出人

因勢地

出花押  
衣以之出人  
因勢地  
衣以之出人  
因勢地  
衣以之出人  
因勢地  
衣以之出人  
因勢地  
衣以之出人  
因勢地

出花押

衣以之出人

因勢地

衣以之出人

出花押

出花押

衣以之出人

因勢地

衣以之出人

厚粉丸 三拾挺立  
石川海馬

市駕翁丸 拾八挺立  
同人

市方丸  
同人

橘丸 三拾挺立  
同種小丸

市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸

市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸

橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸

市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸

市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸

橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸

市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸  
市駕翁丸

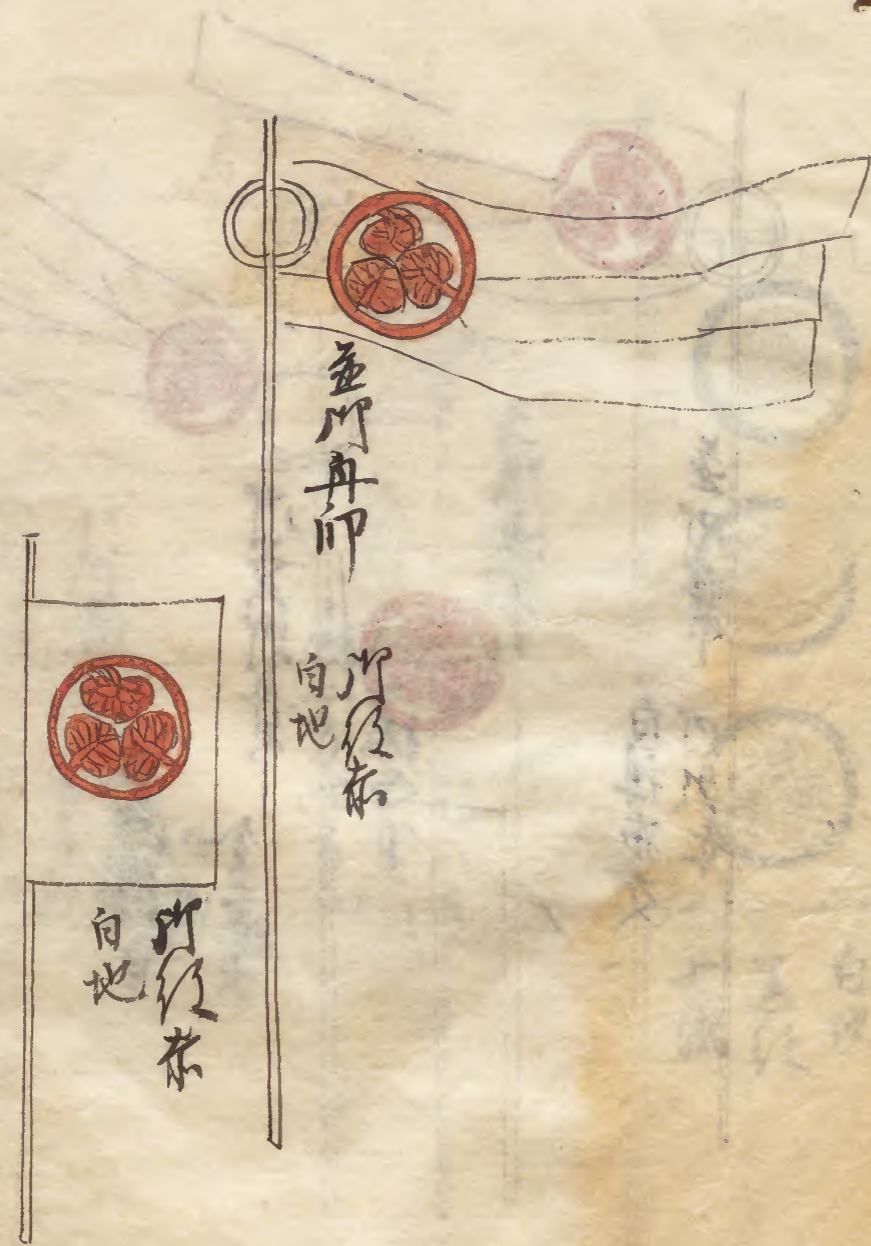
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸  
市方丸

橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸  
橘丸



御旗本

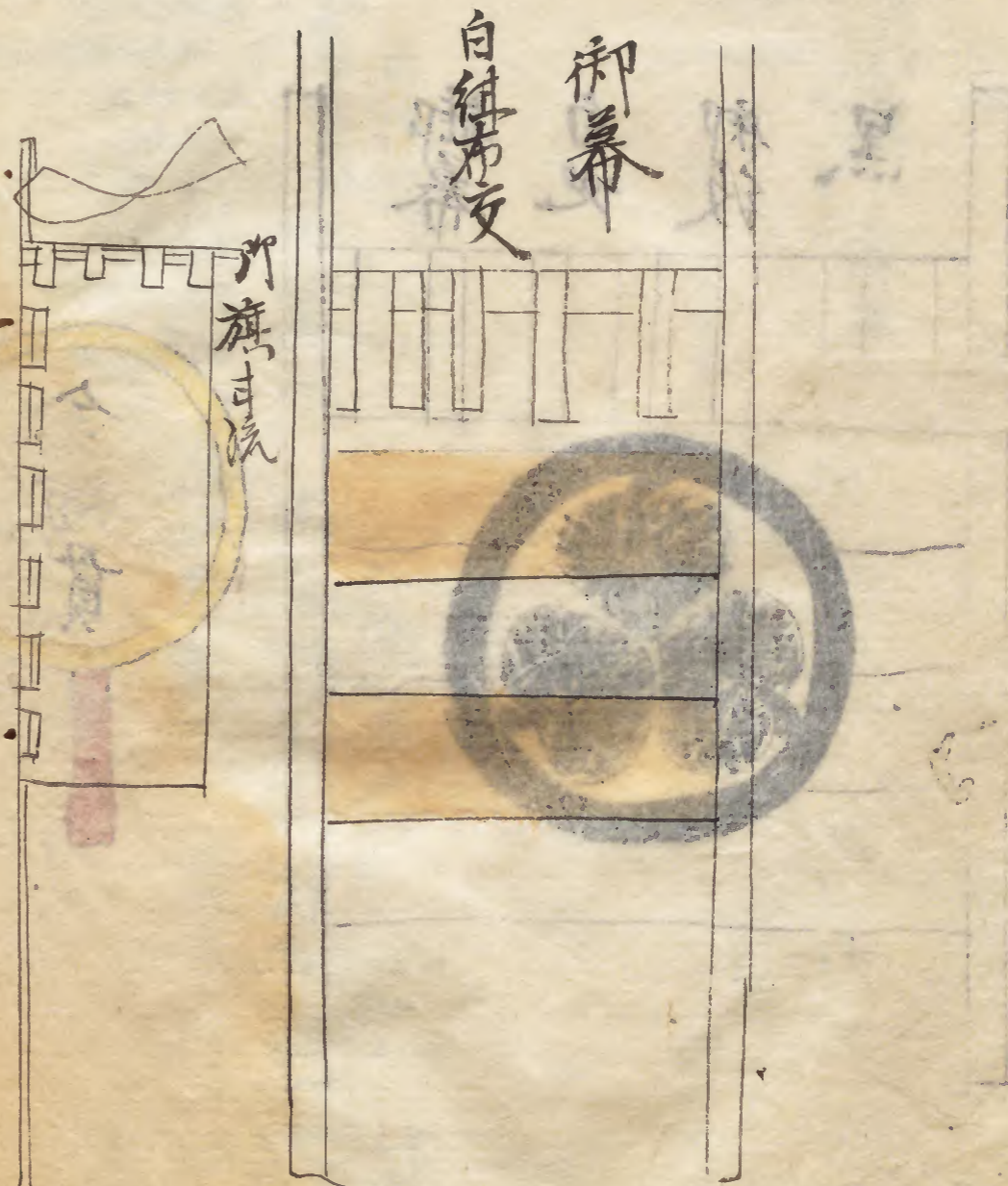
甲前立物



五竹舟印

白地 所領茶

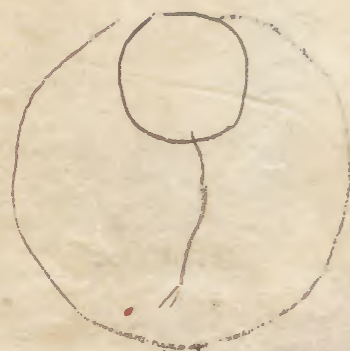
白地 所領茶



御幕

白紐布交

所旗中流



小所馬車  
半月 襷籠



全所馬車  
扇一乃四角

大所馬車



白地  
七流



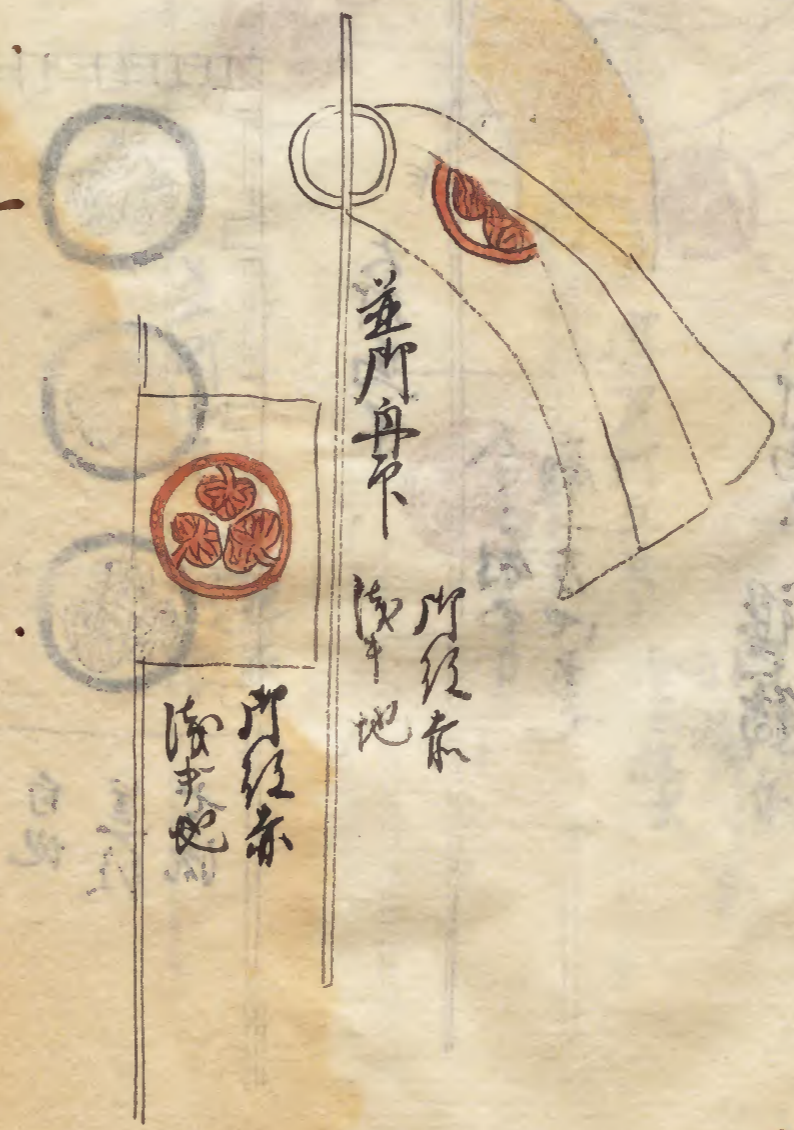
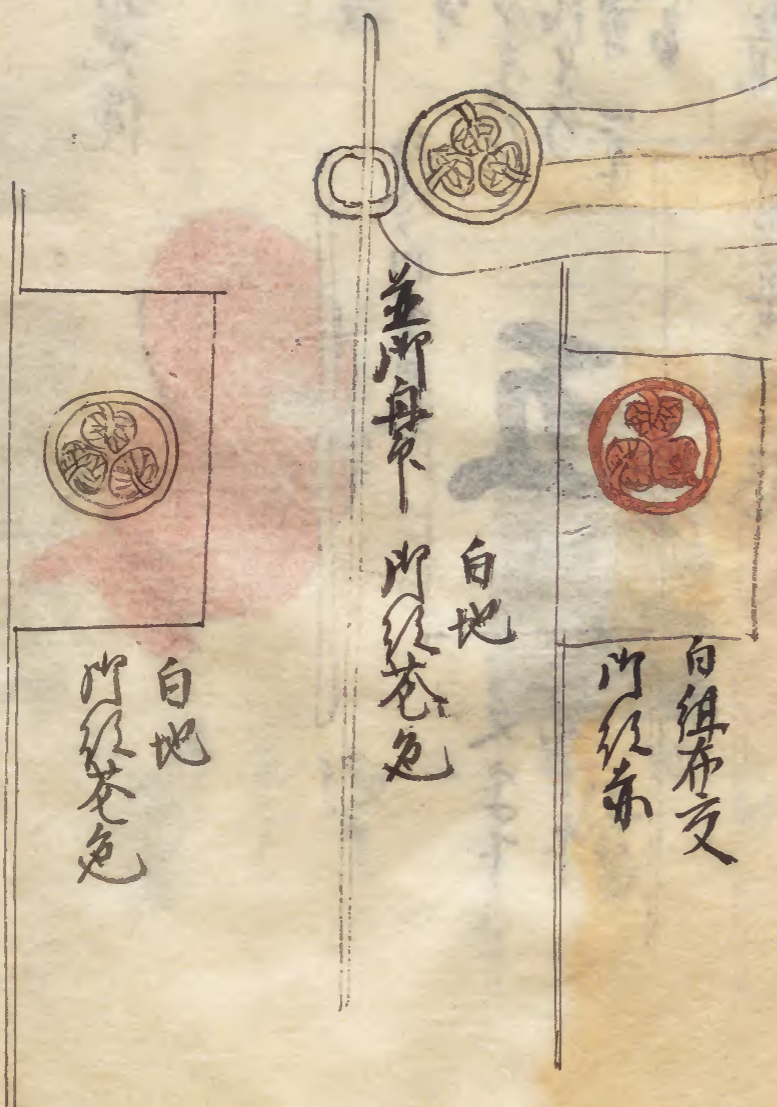
在所馬車

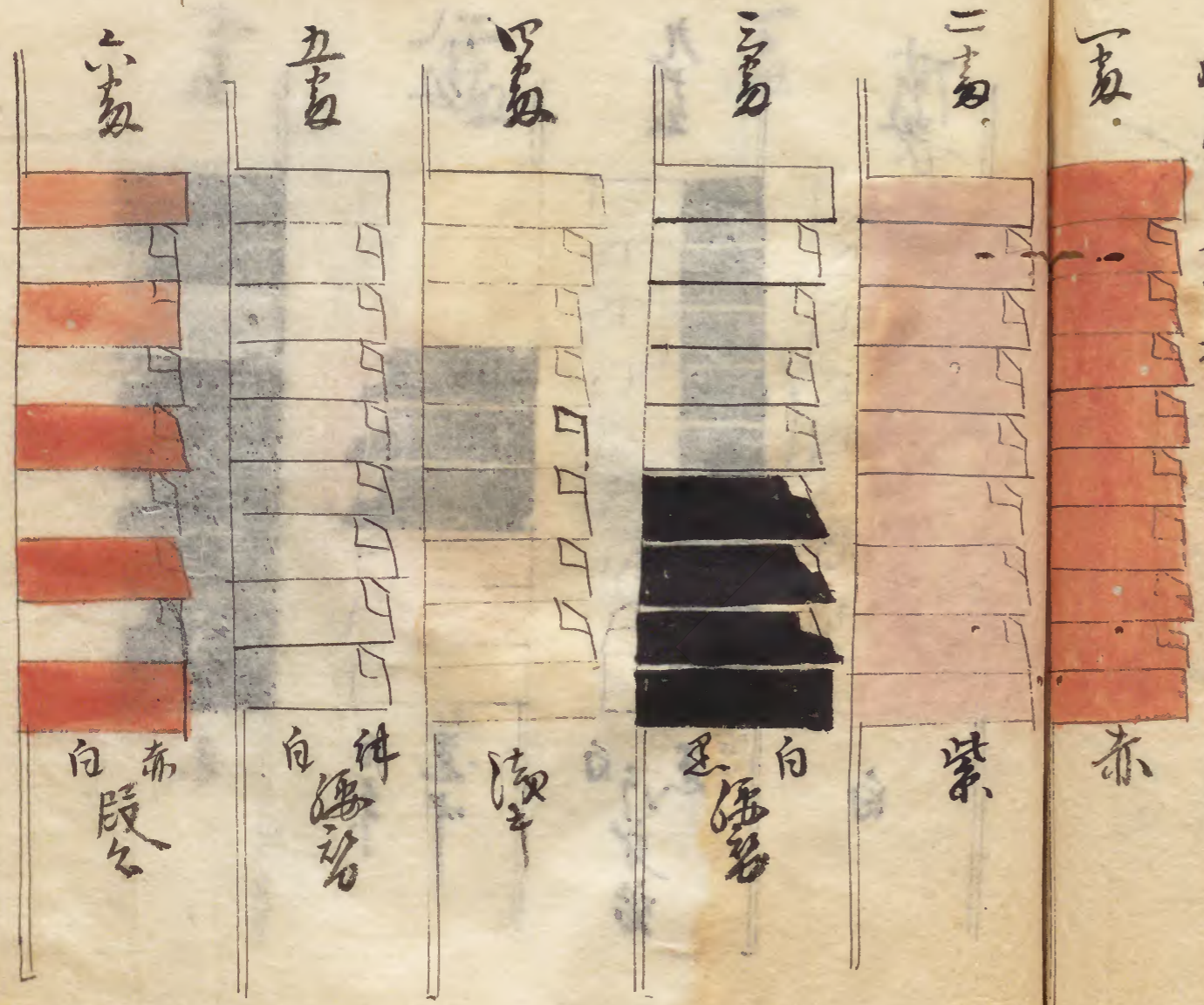
白旗布交  
所旗

所又所馬車

白地  
全之旗





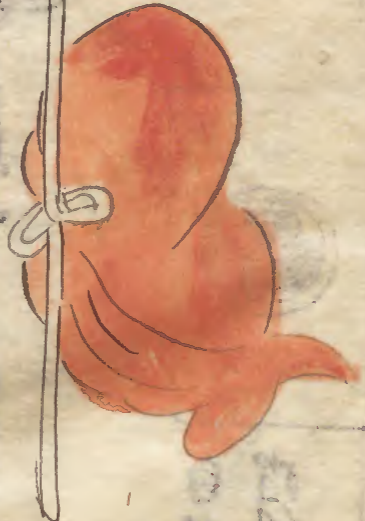


大月分  
所依少  
所依多  
所依少  
所依多  
所依少

切製抗去由二倍

五

西極ノ内意用任



赤地繩

文字下  
面之下

二五

一五

所春院

母教  
少白之任



紫



黄

十五

九五

八五

七五



白



白  
五



白  
五



五



黄

白  
黄

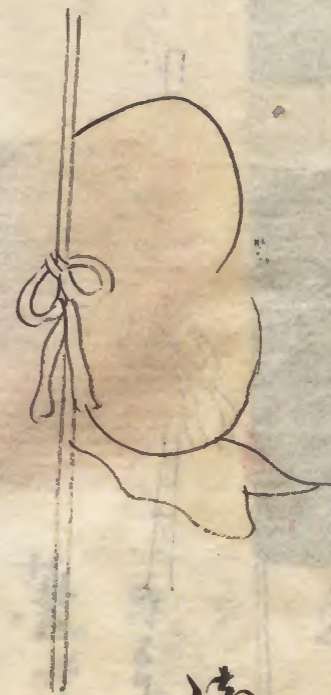


赤

白



黒



白

黄

赤

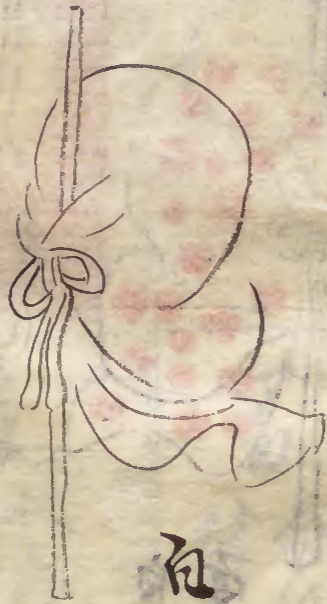
七五

六五

五五



白  
布交



白



黒



二五  
朱色



一五  
白  
黒

大折

折成  
出



六五  
黒

九五  
白



二番  
白  
赤

五番  
白  
赤

四番  
白  
赤

三番  
白  
赤



十番

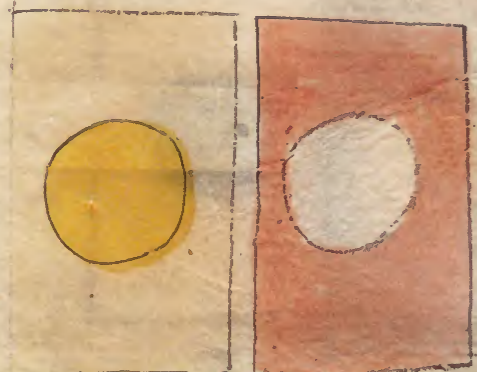
九番

八番

白  
赤

白  
赤

白  
赤



二番

金 伴地  
白



一五

赤地  
白

小六組

四本掛  
七



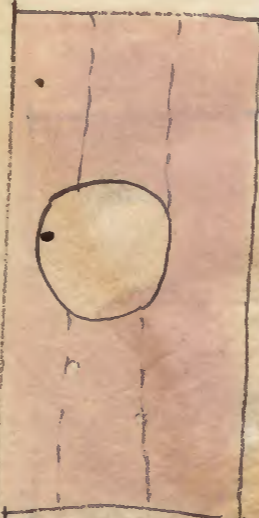
五

白干  
五



十番

白干  
朱



十番

白  
紫



九番

白  
朱







八番





白  
紫



七番

白  
赤

			
	九 白 白地	八 赤 赤地	七 赤 赤地
朱 朱地			白 赤 赤地

			
六 赤 赤地	五 白 白地	四 赤 赤地	三 白 白地
朱 赤 赤地	朱 白 白地	朱 赤 赤地	朱 白 白地

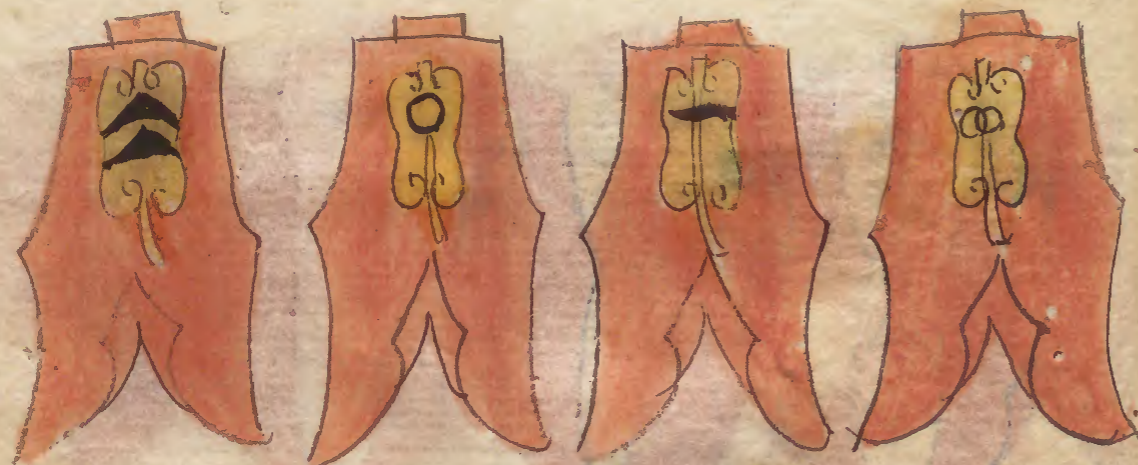


七

六

五

四



三

二

一



沖後

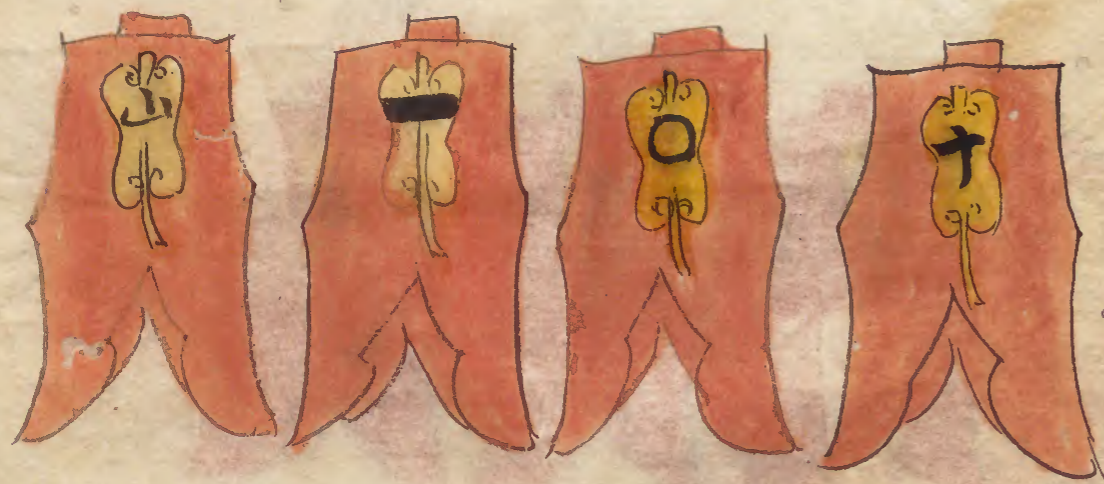
程公使所傳羽織袖十玉色一  
 取不令軍死相亦各如也

十五

十五

十五

十五



十五

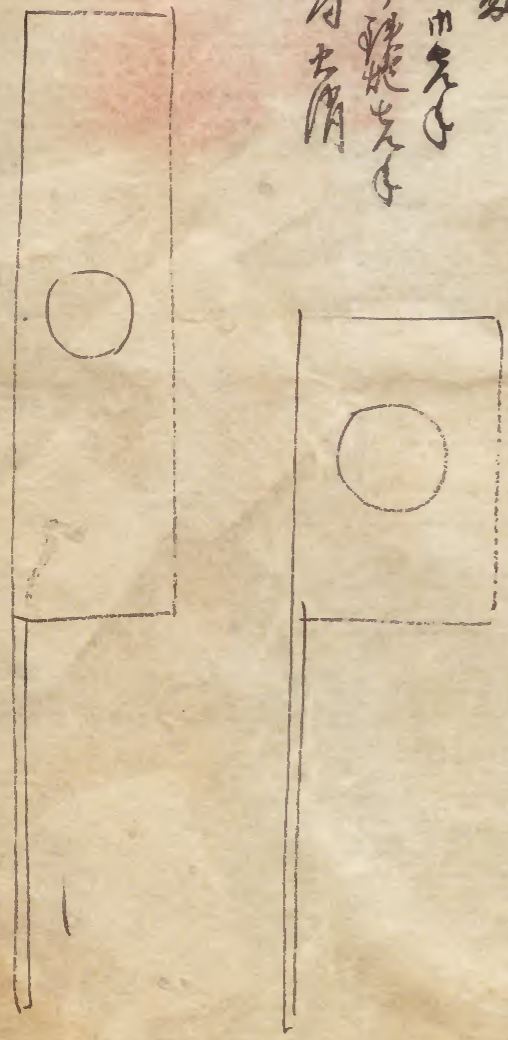
十五

九

八



百人組  
 大所敷  
 所敷川先子  
 所敷川後先子  
 所敷川左先子



与方同心紅下如蓮  
 同心白接以之紅下



廿七敷

廿九敷

十八敷

十七敷

十二敷



